

木造家屋建築工事における動作の反動無理な動作災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	14~15	建物内の地下工事の場所で、床材（60kg）を現場地下から地上に運んでいるとき、転びかけて右肘を負傷した。	23	—
2	14~15	住宅新築現場で（基礎完了）準備の際排雪作業中、不安定な場所での作業や、積雪量も多く、重い雪での排雪作業中、右肩に痛みが発生し作業が出来なくなった。重機では出来ない所は人力での作業となる。	60	—
2	0~1	普段ハンマー等を使用した仕事に従事している。半年ほど前から右手の状態が良くなかったが、痛みが酷くなってきたため医療機関に受診した。医師より長年右手を仕事で使って来た事による負傷であるとのこと。	43	1~9
2	13~14	新築工事現場にて基礎ブロックの据え付けをする為トラックからブロックを持ち上げて運び（1個20kg）設置場所に降ろした時に痛みがはしり負傷した。（この作業を5回程行った時）（設置場所までトラックが入らない為人力にて運搬）	59	—
2	13~14	個人宅外構工事において、型枠（重量約25kg）を1人で無理に持ち上げた際、左肩に激痛がはしった。	70	1~9
2	16~17	急勾配の屋根の上で、長時間古瓦の撤去作業の為登り降りを繰り返し作業していたところ、足・腰に痛みが生じて立つ事も困難になった。	65	1~9
3	9~10	建て方工事中、土台から土台へ移ろうとしたとき、踏み外して変に着地して膝を捻った。	57	10~29
3	9~10	事務所内にて、お客様出迎えのため、事務所入口へ早足で歩いていたら、右下	52	100~

		腿に痛みがはしり歩けなくなり、右下腿筋断裂を負った。		299
3	14~15	新築工事現場にて、外構基礎工事のさし筋作業中、誤って石頭ハンマーで左手小指下あたりを打ち負傷した。	63	10 ~ 29
4	13~ 14	建築現場で、石膏ボード張り（内装の壁張り作業）中に、石膏ボードを持ち上げて（仮置き場所から部屋まで3枚一度に運んでいた、10kg程度）運ぶ際（たてかけた）ふくらはぎが痛くなり、しゃがんで起き上がる時に痛みを感じた。	28	1~ 9
4	9~ 10	前日使用した鉄骨コイル巻き約20kgを軽トラックの荷台からおろし、会社倉庫内に納めようとしたとき、腰に激痛が走りしばらく身動き出来なくなった。	47	1~ 9
4	7~8	新築工事現場にて、クレーン車両運転席のステップ1段目（高さ40cm）に足を乗せ、運転席ダッシュボードに置いてある書類を取った後、クレーン側を向いたまま、左足から地上に降りた際に、地面に重ねて敷かれた鉄鋼敷板の段差（2cm）に左足を着き、左足首を外側に捻り、バランスを崩して後方に転倒し尻もち餅をついた。	49	1~ 9
4	11~ 12	足元の悪い土間で解体作業中、段差があり足を捻った。	54	1~ 9
4	11~ 12	リフォーム工事に於いて現場内を移動中に、10cm程度の段差に足を挫き（右足）骨折に至った。	52	1~ 9
5	14~ 15	個人宅リフォーム工事において、2階屋根で屋根材を施行中、移動しながらピースをとめる際に中腰になっての体の上下作業を繰り返していたところ、急に腰に痛みを感じた。	42	1~ 9
5	16~ 17	外構工事用の資材を置場で準備していた時、ブロック（一片約幅390×奥行150×高さ190mm、重さ15kg）やセメント袋（一袋約幅340×奥行470×高さ110mm、重さ25kg）をトラックに積み込むため、床置きのセメント袋を中腰で持ち上げて運んでいた時、三袋目あたりで違和感を感じ、六袋目位で痛みを感じた。	64	1~ 9
	13~	個人宅新築工事現場にて、地上から3m程の位置の外壁（サイディングボード、セメント系板、厚さ15mm）に換気扇のダクト用の穴を電気ドリルを使ってあける作		1~

5	14	業を行っていた。足場を組み、両手でドリルを持ち、外壁に穴をあけている途中で電気ドリルの回転にかなわず、ドリルを持つ手がはじかれて骨折した。	62	9
6	9～ 10	足場掛工事をしている時に、足場板を持って高さ約40cmのコンクリート土留を上ろうとして、よろけて右足で踏ん張った際にアキレス腱を痛めた。	64	1～ 9
6	9～ 10	個人宅リフォーム工事にて、一斗缶を持ち上げた際に、右脇腹を負傷した。	30	1～ 9
6	9～ 10	被災者は、戸建て現場で断熱材を1階より3階へ階段で荷揚げ作業をしていた。4回目の作業中、腰に違和感を感じ、班長に報告して早退した。2週間ほど様子を見たが、痛みがひかないので病院に行ったところ、腰椎捻挫との判定であった。	23	1～ 9
6	11～ 12	個人宅外壁・屋根改修工事現場にて発生した。足場を解体し、クランプ（足場資材）を袋詰めしたものをトラックに積み込む際、持ち上げた時に腰を痛めた。	34	1～ 9
6	8～9	個人宅2階壁改装工事において、工事完了後のタンスを移動する際、部屋の中にある階段から右足が落ちて、落下寸前のところを両腕で支えたため落下はしなかったが、左足に肉離れを起こした。	72	10 ～ 29
7	14～ 15	個人宅地震復旧工事現場において、リビングの壁面にスクリーボルトを打ち込む作業中、電動ドリルの回転力に負けてしまい、右手を捻り骨折してしまったものがある。	30 64	～ 49
9	10～ 11	作業場で、重い柱材を2人で移動している時に、不注意で足をすべらせ、腰に思わぬ負担がかかったため、負傷したものと見られる。	33	1～ 9
10	15～ 16	民家の屋根（横幅約20cmの継ぎ足しのトタン屋根）で、不慣れな事もあり足に力の入った状態で方向を変えたところ、急に膝に痛みが走った状況。	49	1～ 9
10	15～ 16	土止め工事で積石（90cm×15cm×15cm）を2人で運搬中に通路デコボコ部に足をとられ、後ろに転び腰を打った。痛みを我慢していたが後日痛みが強くなった。	59	1～ 9
10	8～9	会社の駐車場でトラック（4t）に荷物（グレイティング：側溝にはめる鉄製の器具、重さ3～4kg、台車リフトなし）をしゃがんで両手で持ち、高さのある荷台へ積みこもうとして腰を上げ、捻ったら、大きな痛みを感じ動けなくなった。	24	1～ 9

10	11~ 12	<p>体育館において、会社主催の運動会のフットサルの試合にゴールキーパーとして出場中、相手チームの社員が正面からシュートしたボールを受け止める際に右手中指を強打した。少し痛みを感じながらプレーを続けたが、その後患部が腫れていた。当初骨折（ひび）の診断で1カ月患部を固定し観察したが、再診の結果脱臼していることがわかり、入院・手術となった。</p>	21	30 ~ 49
12	13~14	<p>自動車整備工場新築工事において、足場上にて屋根材をトラックから運ぶ作業中に、手元に集中していたため道板の隙間に右足を落としてしまい負傷した。</p>	66	1~ 9

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html